

神奈川の研究者紹介

氏名	長尾 智晴（ながお ともはる）	
現職	横浜国立大学大学院環境情報研究院 教授 YNU人工知能研究拠点長	
主な経歴	東京工業大学大学院博士課程後期、同大助手・助教授を経て2001年から現職。2008年に横浜国立大学発ベンチャー（株）マシンインテリジェンスを起業して取締役CTOを兼務中。	
専攻分野・研究テーマ	知能情報学・進化的機械学習・感性脳情報処理など 「人と機械の知能に関わるあらゆること」が研究テーマ	
主要業績 （これまで発表した著書、論文、行政委員の経験等）	<p>【著書】 C言語による画像処理プログラミング入門（単著）朝倉書店 2014年 他23冊</p> <p>【論文】 “Evolution of Deep Convolutional Neural Networks Using Cartesian Genetic Programming”（共著），Evolutionary Computation, MIT Press（2019） “層平均正規化相互相関ネットワーク”（共著），情報処理学会論文誌：数理モデル化と応用（TOM），Vol.11, No.2, pp.12-21（2018） 他数百件</p> <p>【委員】 国土交通省「AI技術等の活用による船舶の高度な設計支援技術の構築のための調査研究委員会」委員長 他多数</p>	
神奈川県との関わり	県内の複数の企業との共同研究・技術相談を実施中、みなとみらい地区の人流解析プロジェクトのAIを担当、かながわサイエンスパーク（KSP）やよこはまティールオー株式会社（YTL）などでの人工知能関係の講演を担当、など	
メッセージ	<p>昨今、人工知能，特に深層学習（ディープラーニング）に代表される機械学習に注目が集まっていますが、各企業でのAIの導入はあまり進んでいないのが現状です。当研究室では、人工知能に関する広範囲な学術的研究を行なって定評ある国際会議や学会論文誌で発表するとともに、産学官連携や人工知能技術の産業応用に力を入れています。YNU人工知能研究拠点として大企業との連携研究を推進したり、年間40本に及ぶ有償セミナーや企業・展示会などでの依頼講演、企業に対するAI教育の実施などを行なったりしています。いくつかの企業の技術顧問・技術アドバイザーも担当しています。</p> <p>企業においてAIで何ができるのか／できないのか、導入方法、具体的な方法論、人材育成などの方法が分からない場合などはぜひご連絡頂ければ幸いです。</p>	
連絡先	横浜国立大学大学院 環境情報研究院 長尾智晴研究室 〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-7 電話：045-339-4131 E-mail：nagao-tomoharu-sb@ynu.ac.jp	

神奈川の研究者紹介

氏名	濱上 知樹（はまがみ ともき）	
現職	横浜国立大学大学院工学研究院 教授	
主な経歴	2001年 千葉大学大学院自然科学研究科 助手 2004年 横浜国立大学大学院工学研究院 助教授 2008年 横浜国立大学大学院工学研究院 教授	
専攻分野・研究テーマ	知能システム、人工知能、機械学習 知的社会システム、知的医療支援、異常検知、強化学習	
主要業績 (これまで発表した著書、論文、行政委員の経験等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 李 建道, 濱上 知樹, “非同期型基本ブロックとパイプライン処理によるブロック構造型ニューラルネットワークの高速化”, 電気学会論文誌C (電子・情報・システム部門誌) Vol.139 (9) 1059-1065 (2019) ・ 安永 翼, 山田 雄基, 濱上 知樹, “単語重みを用いたアソシエーション分析に基づく文書分類のための自動的クエリ拡張”, 情報処理学会論文誌 60 (3) 880 - 889 (2019) ・ 足立一樹, 濱上知樹, “注目領域に基づいた CNN の特徴マップに対する正則化”, 電子情報通信学会 和文論文誌D J102-D (3) 185-193 (2019) ・ 佐々木勇人, 濱上知樹, “検出率最適化のための Boosting における適応的しきい値調整”, 電子情報通信学会論文誌D J102-D (2) 68-78 (2019) 	
神奈川県との関わり	神奈川県内の企業・法人様との共同研究・技術指導や、県立医療機関・病院との連携・プロジェクトを介して、人工知能技術の社会実装と地域貢献を推進しています。	
メッセージ	<p>人工知能と機械学習の要素技術・基礎理論を探求し、社会のしくみやサービスを高度化する、知能システム設計・実装技術を追求しています。</p> <p>近年の人工知能（AI）技術の目覚ましい進歩により、社会の知能化による様々な課題解決が期待されています。特に、熟練技術者の高齢化や労働人口の減少、労働集約性の高い業務の効率化と質の担保のために、AIを積極的に活用しようという機運が高まっています。しかし、AIの要素技術を実際の業務やサービスに結びつけるには、AI技術と従来の運用をいかに結びつけるかという新たなシステムエンジニアリングの視点が不可欠です。</p> <p>このような背景のもと、本研究室では持続可能な高度社会と人類の知的生産性の増大をめざし、神奈川県内の様々な組織・方々と「知能システムエンジニアリング」の実現をめざした研究に取り組んでいます。</p>	
連絡先	<p>横浜国立大学 電子情報工学科棟 804 濱上研究室</p> <p>〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5</p> <p>E-mail: hamagami@ynu.ac.jp http://hamagami lab.ynu.ac.jp</p>	